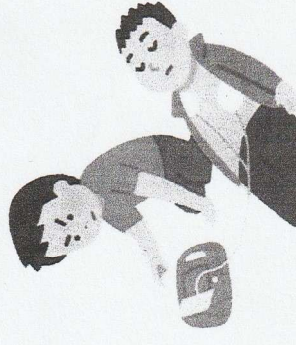
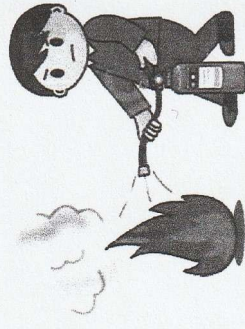


東原防災訓練のご案内

3月8日(土) 9～11時 場所：東原自治会館
受付開始 8:45～

訓練内容

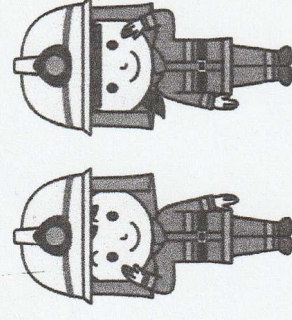
- * 水消火器を使用した消火訓練訓練
- * AEDを用いた心肺蘇生訓練
- * 非常食試食会
- * 子供消防服試着体験



お子様にもご参加頂けますので、是非近隣の方もお誘いの上ご参加いただくようお願いいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

お越し頂いた際は自治会館で受付をして下さい



※ 雨天の場合はAED心肺蘇生と非常食試食会のみ行います

「安否確認カード掲示訓練」 実施日変更のお知らせ

中田連合自治会総合防災訓練に伴う**安否確認カード掲
載日が変更**になりました。

変更前 令和8年2月8日(日)

変更後 令和8年3月8日(日)

変更の理由;2月8日が総選挙投票日になったため

掲載の時刻に変更はありません。

午前8時までに玄関先や外から見える場所に掲示、午前
10時以降に戻してください。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

東原たより

発行 東原自治会
発行責任者 会長 竹田 輝弘
発行日 令和8年2月1日

寒さがいっそう厳しい時期となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。立春とは名ばかりの季節ですが、日差しの中に少しずつ春の気配も感じられるようになってきました。

体調を崩しやすい時期ですので、どうぞお身体に気をつけてお過ごしください。

去る1月18日には、子供会と長寿会による交流会が開催され、世代を超えた温かなふれあいの時間となりました。ご参加・ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

今月も地域活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

【延期】「中田連合自治会総合防災訓練」について

令和8年2月8日（日）に予定しておりました「安否確認訓練・中田連合自治会総合防災訓練」は、衆議院選挙の実施に伴い、令和8年3月8日（日）へ延期となりました。

「東原自治会防災訓練」について

地域防災力の向上を目的として、下記の通り防災訓練を行います。

災害はいつ起こるかわかりません。

いざというときに落ち着いて行動できるよう、ぜひご参加ください。

日 時：3月8日（日） 9：00～

場 所：東原自治会館

「モルック大会」のお知らせ

3人1チームで自治会から何チームでも参加できます。

ぜひお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

みんなでワイワイ盛り上がりましょう

日 時：3月1日（日） 開会式 9：00 閉会式 11：40

選手受付 8：30～9：0

場 所：中田小学校校庭（雨天中止：2/28 8：00に中田連合ホームページに掲載）

参加対象：中田地区住民（小学生以上）

締め切り：2/22

3月の予定

役員会

3月1日（日）17：15～

班長連絡会

3月1日（日）18：00～

立場地区センターだより

令和 8年 2月

★休館日:2月 9日(月)・3月 9日(月)

《立場地区センター》

〒245-0012

横浜市泉区中田北1-9-1

TEL.045-801-5201

FAX.045-805-1954



◆横浜市立場地区センターは、「和の会」(理事長 井上昌司)が指定管理者として管理運営しています◆

立場地区センターまつり

2月14日(土)

《作品展》 10時～15時

《発表会》 10時～14時10分

★似顔絵コーナー 14日限定

★体験! ワークショップいろいろ

★グルメ

豚汁・五目ずし・フリーストックカフェ
キャラメルポップコーン

※13日(前日準備)～15日は、
図書貸出などの一般業務は行いません。
プレイルームは、13日のみ使えません。

2月15日(日)

《作品展》 10時～14時

《イベント》 10時～12時10分

☆One play ダンス

☆丹生谷佳恵と仲間たち

「低弦の豊かな響きの魅力」

《出演》 迫本章子(ピアノ)

甲斐澤俊昭(コントラバス)

丹生谷佳恵(ピアノ)

☆横浜中田 ジュニアマーチングバンド

☆UN-STELLA(アンステラ)

☆横浜隼人高校 和太鼓部

★炊立てお赤飯 ★フリーストックカフェ
★体験! ワークショップ (～14時)

★【赤ちゃん教室】

毎月第3火曜日

10:00 (和室)

★【ぺんぎん おやこ広場】

(子育て相談)

毎週木曜日

10:00 (プレイルーム)

★【中田子育てサロン】

毎月第1水曜日

10:00 (和室)

★ プレイルームのスペシャルタイム

「えいごであそぼう」

2月24日(火) 11:50～12:05

★絵本だいすき! 読み聞かせ (お話し会MAY)

2月26日(木) 11:00～11:40

★おもちゃの病院 (おもちゃドクターグループ)

3月21日(土) 10:00～15:00

大好きだったおもちゃを捨ててしまう前に
お持ちください。できる限り直します。

【申込み】 2月11日～3月13日に
電話か窓口で事前予約

★行政書士無料相談(神奈川県行政書士会戸塚支部)

2月21日(土) 9:30～11:30

★お茶を楽しむ会 (泉区茶道会) センターまつり内

2月14日(土) 裏千家:広瀬宗成

10:00～15:00 500円



《新着図書》

【絵本】

- ・ギリギリオニギリーズ
- ・きょうりゅうゆうえんち



【児童書】

- ・つかめ! 理科ダマン 4
「人体のふしぎ」を探れ
- ・海底のサバイバル 1
科学漫画サバイバルシリーズ 92

【成人】

- ・蒼天のほし
- ・最後の一色 上・下

葛野小学校6年2組

つなぐ つながる 竹あかりの会

日時 令和8年2月24日（火）

10：00～12：00

場所 葛野コミュニティハウス
研修室

私たちは、「竹あかりで地域とつながる」
をゴールにしてこのイベントのために 様々
な活動をしてきました。

地域の竹を使って、とても幻想的な空間を
作っているので、ぜひ見に来て私たちと
つながってくれと嬉しいです！

おどいば新聞

01

ケアプラザ

2月号

発行 横浜市踊場地域ケアプラザ
住所 横浜市泉区中田東1-4-6
電話 801-2920
FAX 801-2923

おどいば ねこまつり 2026

ねこと歩こう！

今年の「おどいばねこまつり」はケアプラザを飛び出し
地域へ出る予定です。当日の予定は下記の通りです。

10:00 踊場地域ケアプラザ出発

踊場駅を通過し戸塚高校方面へ

和菓子おおたけさん

踊場公園こどもログハウスさん

11:30 踊場地域ケアプラザ到着



※雨天、荒天時

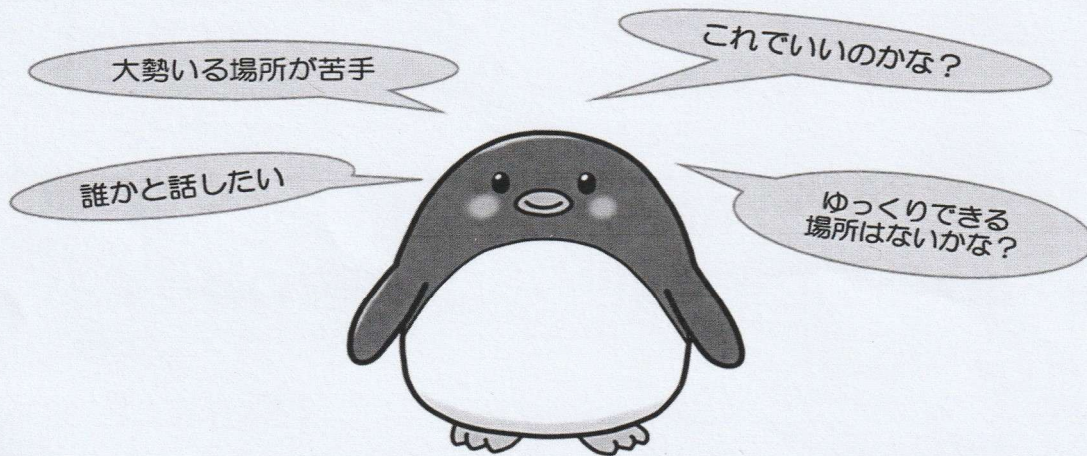
悪天候の場合は踊場駅に下りる
のみとなります。

交通機関に影響の出るような雪
の場合は中止となります。

「ぺんぎんテラス」のご案内

踊場地域ケアプラザ事業「子育て応援スペース・ぺんぎんテラス」では、みなさんのご参加をお待ちしています。
この「ぺんぎんテラス」は、既存の子育て広場やサロンなどとは少し違った居場所作りを目指しています。お子さんではなく子育て中のみなさんが主体で「ゆっくりのんびりできる」「静かな空間でお話できる」「気分転換をしてまた育児に向き合える」そんなひと時を過ごしてほしい場所です。

悩みや不安が多く孤立しがちな子育て期間ですが、このぺんぎんテラスに来てたくさんお話ししてみませんか？子育て期間は楽しかったと振り返られるよう今を過ごしてもらいたいのです。



～「ぺんぎんテラス」名前の由来～

「ぺんぎん」は泉区子育て応援マークから。「テラス」は子育て中のあなたにスポットを当てて「照らす」。またケアプラザ3階にある素敵な「テラス」でお話したい。そんな意味を込めて名付けました。

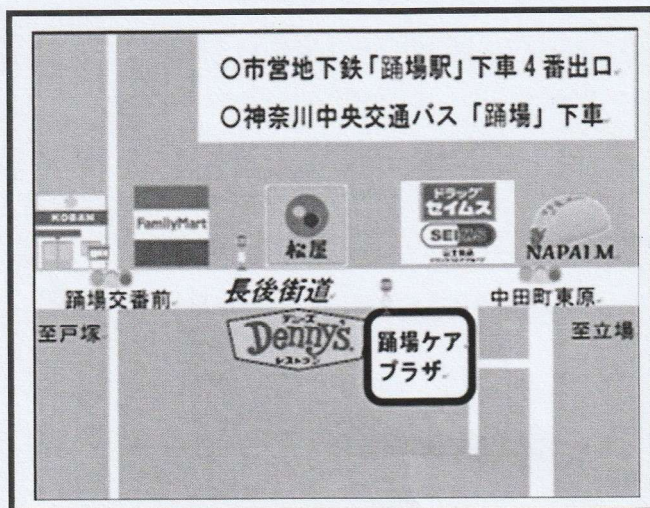
～一度見に来てください。お待ちしております♡～

～新しい出会いを大切にしています。個人でご参加ください。～

<日時：毎月第3土曜日10時から11時・3階ボランティアコーナーにて>

お問合せ 踊場地域ケアプラザ 電話：801-2114(地域活動交流)

担当 嶋



踊場地域ケアプラザでは毎月第1月曜日が清掃日となります。3階各部屋の利用ならびに予約はできません。デイサービスのみの通常通り営業しております。

ご意見・お問合せは

電話 801-2920 (代表)
801-2922 (地域包括)
801-2114 (地域交流)

FAX 801-2923

Eメール shima@odoriba-cp.jp

担当 嶋(しま)までお願いします

“あらゆる人の尊厳を守り、常に人が人として、文化的生活を営めるよう、その自立に向けた支援に努める”
踊場地域ケアプラザは(福)神奈川県匡済会が運営しています。<http://www.kyosaikai.jp/> ブログもあります

中田かわら版 2 月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい〈83〉

「オカリナの奥深い世界」

國谷 雅代さん 60 歳 (宮の台)

「オカリナに出合って、15 年過ぎました」と、明るく語る國谷 (くにや) 雅代さん。その出会いのきっかけは 20 年前にさかのぼる。子育ても落ち着きヘルパー2 級の資格を取った。タイミングよく医療生協「中田診療所」が開設したディサービスでヘルパー募集の広告が目にとまり、早速応募。それから週 2 回の仕事を楽しみながら、介護福祉士の資格も取得した。「中田診療所は、公私ともにお世話になって、今の私があるんです」と、言い切る國谷さん。そして「オカリナとの出会いもここなんです」と話が続く。当時の看護師長さんから「オカリナの先生を知っているの、サークルを立ち上げたい。一緒にやりませんか？」と声をかけられ、楽器のことは何も知らないまま始めることに。当初、練習場所も中田診療所で月一回の練習が始まった。今では中級の腕前で法螺貝ほどの大きなオカリナもこなしている。



雅代さんは東京生まれ、音楽好きな家庭に育ち、ピアノを 6 歳の時から習い始めた。8 歳の時に神奈川県綾瀬市に移ってもピアノは高校まで続けた。「中学と高校では吹奏楽部に入り、クラリネットを吹いていました」と音楽との縁が続く。さらに「私の性格は始めたら続ける事」と穏やかに話す中にシンの強さがのぞく。

就職は地元でしたいと、綾瀬市内に研究所のある会社に。そこでご主人と出合って 24 歳の時結婚。実はご主人の海外転勤が決まったため急遽結婚式を挙げたとのこと。新居はアメリカのオハイオ州だった。息子さん 2 人はそこで生まれ、長男が 1 歳の時帰国。雅代さんの性格から「楽しい 5 年間でした。日本人も多かったの、英語はほとんど使わないで済みました。だから全然英語はできないんです」と明るく笑う。帰国後は今の「宮の台」に。両親の住む敷地内に新居を構え、定住している。そこでも、子供の通った小中学校の PTA コーラスのグループに所属し、今も続いている。

「オカリナを始めて、楽器の奥深さにびっくりしました。吹き方で音色が変わり、息の強さや息の入れ方で音程を一定に保つことがとても難しい楽器なんです。オカリナの種類も大きさも多種あって、大きくなるほど低音になります」と説明に熱が入る。



材質は主に陶器で「最近購入した“淡路島”の土で作られたオカリナが気に入っています。これからも演奏のジャンルは問わずに、いろいろな曲に挑戦していきたい。さらに上級を目指し、仲間を増やして地域の方々にオカリナを知ってもらいたい」と、声がかかると多種類のオカリナを持って出かけ、客層に合わせて曲を選び、演奏をしている。穏やかに語る雅代さんを、これからも応援したい気持ちにさせてくれた楽しいひと時でした。

松本 純子

“中田のトム・ソーヤ”は愛と勇気を語った

佐々木弘美さん 元中田連合自治会副会長 令和7年11月28日死去、87歳

平成14年に望月榮さんが連合自治会会長になられた時を同じくして佐々木弘美さんも副会長になられた。令和3年に望月さんは87歳で、令和7年に佐々木さんも87歳で逝去されたことは偶然とは言え余りにも早すぎました。

秋田市出身の佐々木さんは名門秋田工業高校ラグビー部で活躍後、日本を代表する企業「日本鋼管」に就職、保全課（安全管理）の業務を務めあげました。昭和40年頃、中田に定住。会社を退職後は奥様ミキ子さんとのトム・ソーヤ的活動が開始されました。

「トム・ソーヤ」はマーク・トウェイン原作の小説である『トム・ソーヤの冒険』の主人公でミシシッピ川沿いの村に住む冒険好きでいたずら好きな少年のこと。1876年発表。とある。（スマホ検索）

まず、西が岡コミュニティでの蕎麦打ち会を夫婦で受講。やがて畑を借りて蕎麦の栽培を始める。作業小屋を建てる。名前を「富夢創家」トム・ソーヤ。大きなビニールハウスも建てた。仲間が増えた。バーベキューもした。蕎麦の実を製粉して打った。石臼も製粉機も蕎麦打ちに必要な全ての道具を揃えた。いつもミキ子夫人が傍に居た。これらの道具は決して安くはない。雨の日、風の日、灼熱の太陽の日も二人して頑張った。9年前、最愛の奥様に逝かれた。その時奥様は76歳。こんな思いっきり面倒で難しい事を始めたのはラグビーの影響だろうか。勇気？頑固？

佐々木さんは「かわら版編集委員会」の委員長をされていた平成29年に、筆者は同委員会に入りました。「松本さん、奥さんを大事にしてください」と言われ始めました。「ハイ、大事にしています」と応えました。10分後に又、言われました。又、応えました。後に1年前に奥様を亡くされたことを知りました。お酒を飲んでも飲まなくても何べんも佐々木さんは言いました。10回以上で数える事を止めました。

沢山の趣味をお持ちの佐々木さんは中でも2点、紹介したい。毎年の賀状は木彫りの歌麿風版画です。（写真）もう1点は膨大な量の日記風記録誌です。原稿用紙換算すれば500枚以上でしょう。内容は奥様との思い出が殆どなのです。（お嬢さん談）

「和の会」館長を歴任するなど地域の福祉や健康の為に第二の人生を送られた佐々木さんは、奥様のいない9年間もより懸命に勇気と愛情を地域に注いできました。「蕎麦打ちの会」はしっかりと中田に根付いています。昨秋も92kgの過去最高の収穫を得ることが出来ました。謹んでご報告を申し上げます。

今年も来年も中田の「富夢創家」の跡地に、風が吹けば笑う様な真っ白な蕎麦の花を咲かせます。高松 正

悼
む

編集後記

横浜市が「ヨコハマあんしん登録」という事業をスタートしたのをご存じですか。

65歳以上の市民が緊急連絡先やエンディングノートの保管場所などの個人の情報を市に登録できる制度で、病気や事故の際には登録した内容が警察や消防、医療機関に伝わり、意思決定が尊重される仕組みです。福祉政策の登録制度ですが、災害時にも生かして災害関連死の防止などにもつながると受け止めており、防災活動の取り組みでも登録者数を増やす活動を通して、日ごろの顔の見える関係づくりを進めたいと思っています。

鈴木 賀津彦

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本 正

編集委員；小島敏子、田中 進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋 宏之